

教育・保育の目標と理念

0歳から就学前までの一貫した教育・保育の方針に基づき、乳幼児の成長にふさわしい経験の場を提供し、心豊かに人間形成の基礎を培う心を育てる教育・保育を行います。

そして、家庭・地域・こども園が連携して、一人ひとりの生きる力を伸ばし、社会創造性を高め保護者の子育てを支援し、乳幼児のすこやかな成長を育むことを目標としています。

〈キリスト教保育〉

子ども一人ひとりが神によっていのちをあたえられたものとして、イエスキリストを通して示される神の愛と恵みのもとで育てられ、今この時を喜びと感謝をもって生き、そのことによって生涯にわたる生き方の基礎を培い、自律的な人間として育つために、保育者が、イエスキリストとの交わりに支えられて共に行う意図的、継続的、反省的な働きである。

〈子育て支援事業〉

親子登園 週3回(月・水・金)

相談事業 随時(日・祝日・12/29～1/3 除く)

家庭訪問 週2回(火・木)

(様々な感染症予防の折、電話にて行っています)

一時保育 随時

〈食育〉

心と身体の基礎となる食べ物の大切さと共に食事する楽しさを、1年を通し、それぞれ年齢に応じた計画のもと、行っています。

活 動 の 様 子



花の日訪問



レクリエーション



クリスマス会



音楽会